東京都中央大会　コロナ対策　マニュアル

少年連盟審判部

* **審判員**

**・**審判員の健康チェックシートまたはこれに代わるもの（スマホなど）の提示、健康状態の確認。

　・会場に入るときは、マスク着用、握手等の接触はしない。

　・審判クルーの打合せは、マスクを着用して手短に、向かい合ってではなく同じ方向を向いて。

　・ユニホームチェックは、指定場所において全員マスク着用し手早く行う。

　・ペンなどの筆記用具、審判フラッグは共有しない、自分のペンやフラッグを各自持参する。

　・各自マスクの収納ケース（ジップロックなど）を持参し、外したマスクは自分で管理する。

　・審判報告書は、電子化（メールで２日以内に送信する）。

※ただし退場や重要事項が出た場合は、当日書類で提出する。

　※ユニホーム規定は、少年連盟ハンドブック、P53の規定による。

　・審判員は、試合後も２週間程度検温を続ける。

* **試合**

・試合前の用具チェックは、選手、審判員全員マスク着用。風通しの良い場所で適切な間隔をあけて、

　 選手はその場を動かさず、審判員が目視で確認する。選手には接触せず手早く行う。この時に、

　 コイントスを行いエンドを決めておく。

　・選手の入場は、２メートルの距離をとって入場する、交代ゾーンの幅で向かい合って挨拶する。

　　試合終了の挨拶も同じとする。

　・試合前のセレモニーは行わない、ただし多摩陸上競技場では距離をとって整列しスタンドに挨拶。

　・審判員は必要以上に、大きな音で笛を吹いたり、大きな声をかけたりしない。

　・第４の審判員、補助審判員はマスクを着用し、コート本部と適切な距離をとる。

　・ＰＫ戦：コート上でのＰＫ戦の場合、キッカー以外の選手は、ＰＫが行われていない側のハーフにいて、

　 ハーフウエーラインに沿って適切な間隔をあけて横に広がる。センターサークル内にいる必要はない。

　・試合が終わったら速やかにピッチから退出する。

* **選手・チームスタッフ**

　・両チーム、スタッフ、審判団との握手はしない。

　・円陣を行わない。

　・得点の喜びは禁止しないが、ハイタッチ、身体接触等は行わない。

　・ピッチ内での、咳エチケット、ツバ吐きはしない。うがいの水をピッチ内に吐かない。

　・飲水ボトル、タオル等を共用しない。

　・コーチ、チームメイトとの会話時、適切な距離をとる。

　・交代選手のビブスの共有はしない、個々のビブスまたは上着を用意する。

○　**共通事項**

　・選手、審判員はピッチに入るまでマスクを着用する。外したマスクはコーチやチームメイト、または

　 本部役員等に手渡さず自分で管理する。密閉できる袋などに入れ（ジップロックなどに名前を書いて）

　 自分の荷物のところに置いて管理する。

　※試合後体調に変化があった場合、速やかに報告する。